

平成28年度岩手県立種市高等学校
第二回学校評議員会 記録

期 日 平成29年2月22日(水) 16:00~16:50
場所 本校 応接室
出席者 学校評議員 A氏(地域関係者)
B氏(教育関係者)
C氏(地域関係者)
学校職員 校長、副校長、事務長、各分掌主任、各学年主任、総務部員

1 開 会

2 校長挨拶並びに出席者紹介

3 学校概況説明

ア 平成28年度学校状況報告(校長、副校長より)

イ 平成28年度学校評価(副校長より)

5 質疑【評：学校評議員、○：本校職員】

評：学校評価アンケートの記述内容に「資格取得の種類やチャンスをもっと増やしてほしい」とある。資格を基準に進学先を決めている生徒も多いが、今よりも資格取得を増やすことは可能か。

○：現在、3年間で10個の資格にチャレンジすることが可能だが、これ以上増やすのは難しいと考えている。合格率は高く、全国でも良い方で手厚い指導もしている。

○：今現在、取得できる資格自体が少ない。これ以上増やしても、合格率アップにはつながらないと考えている。

○：英語では年に3回英検を実施している。また、G-TECも年1回実施している。合格率を上げるために指導を頑張っていきたいと考えている。

○：教員も生徒も部活後に指導をしたり受けたりとできることは実施している。海洋開発科だけでなく普通科も、ビジネス検定等を行っている。

評：ジュニアマイスターゴールド受賞者が5名というのはすばらしい結果である。今後も合格率を上げられるよう、頑張ってください。

評：危険物の取得割合が少ない気がするがどうなのか。

○：危険物の合格はなかなか難しい。外部講師による講習など合格率アップにつなげていけるよう新しい取り組みも行っている。

評：測量士補の合格率はもっと多かったのではないか。

○：今回の取得状況が今まで1番多い。

○：岩手県の土木を学ぶ学校の中で1位か2位ぐらいのレベルである。指導体制もしっかりしていて整っている。数は少ないが、合格率は高い。

評：国公立大学へは推薦で合格しているのか。それともセンターなのか。

○：国公立大学へは推薦で合格している。八戸工業大学へは一般入試で2人合格している。短期大学・専門学校は推薦で合格、その他二戸高看は一般で合格した生徒もいる。大学・短期大学希望者11名がセンター試験を受験した。

評：町営の下宿の料金はどのくらいなのか。

○：学校側では関わることはできないため、まだわからない。

評：町営の下宿は県内に他にいいのか。

○：県内にはないが、下宿補助はある。県外には地域、学校の存続をかけたという意味で町営の下宿を運営しているところがある。

6 提言

B氏：海洋開発科の奉仕活動がありがたいと感じている。海洋教育に力を入れるということで毎年行っている浜清掃をベースに海洋教育を強化していきたい。種市高校と連携した形でも進めていきたいので、窓口等を設置していただきたい。

C氏：授業に対し、生徒も教員も一生懸命に取り組んでいる。滝澤鶏舞（無形文化遺産）を子どもたちと一緒に頑張っている。継続はなかなか難しいところである。種市高校から参加している生徒もいるため、学校側からも気持ちよく送り出してほしい。

7 その他

・滝澤鶏舞について

種市高校からは3年生1人、1年生1人が参加している。イベントと学校行事が重なってしまい参加できなくなってしまうこともある。部活動とかぶってしまうことも多々あるため、イベント時に配慮していただけるとありがたい。

8 閉会